

熊野第三小学校

「かかわりを大切に」

～学年を超えたかかわり、地域とのかかわり～



熊野第三小学校では、人権教育、青少年赤十字活動等を通して、「かかわり」を大切にしたい取り組みを行っています。

■かかわりその1

「人権教育」

今年度、文部科学省から人権教育研究推進事業の指定を受け、「人との関わり」に視点をおいて研究を進めています。昨年11月には、教育研究公開を行いました。およそ140名の方に来ていただき、授業を参観していただいたり、講演を聞いていただいたりしました。

講演では、香川大学教授 清國祐二先生から、「人権感覚を高めるコミュニケーション能力」という演題で、しっかりと耳を傾けて話を聞くことにより、相手の思いを受け止め、その中で感性や人権感覚を身につける



ことができると等お話をしていたいただきました。授業中の児童の聞く姿勢は、1学期に比べて随分よくなっていると評価していただきました。これからも、身体全体で話を聞くことを大切にしていきたいと思えます。

平成25年度も研究指定を受け、教育公開を行います。多くの方に、参観等していただきたいと思えます。詳しくは、来年度の町広報に載せます。ご期待ください。

■かかわりその2

「青少年赤十字活動」

青少年赤十字活動に取り組んでいることも、学校の特徴です。

V S(ボランティア・サーピス) 朝会では、異学年の仲間と協力しながら、気づき、考え、行動しております。今まで、石ひろい、草抜き、落ち葉拾いなどの活動を行いました。どの場所をきれいにするかということ、班毎に見つけて活動したこともあります。

少子化に伴い、異年齢の子どもどうしのかかわりが少なくなっている今、こういった活動は、大変貴重です。また、V Sを念頭において活動するかかわりは、他校には見られない活動です。

これからも、取り組んでいきたいと思えます。



■かかわりその3

「ESD教育」

熊野第三小学校では、地域とのかかわりも大切に行っています。

環境委員会の子どもたちがサルビアを種から育て、7月頃、苗を地域の方に配り、水やりをお願いしています。赤い花が町を彩ってくれます。花の世話のお礼に、感謝状をお渡ししております。

地域とのかかわりを大切にしたい持続可能な教育(ESD教育)として、今後も取り組んで参ります。この取り組みを掲げて、ただ今、ユネスコスクール登録申請中です。

今後も継続して取り組み、深まりのあるかかわりにしていきたいと考えております。

あとかき

新しい年を迎え、皆様方には色々な思いで新年を迎えられたことと思えます。

昨年12月に実施された国政選挙において、3年余りの民主党政権から自民党政権に代わり、今年の景気がどうなるか楽しみでもあり、不安でもある今日この頃です。わが町の伝統である筆産業も、今年の干支である巳年にちなみ長く長く好景気が続くように願っています。

寒さ厳しい今日この頃ですが、皆様方には健康には十分注意され、今年1年を明るく楽しく過ごしていただくことをお祈り申し上げます。

中原 裕祐

次の定例会は

3月11日(月曜日)

開会を予定しています

議会だより題字

世木田江山さん

表紙写真

子供新年会
(保育所ひかり学園)